地球館地下2階「地球の営みの記録」：輝安鉱

2025

7

July

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21 海の日	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

6

1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

8

					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

愛媛県西条市市之川鉱山産の輝安鉱は、アンチモンと硫黄の化合物で、合金や難燃剤の原料として重要な鉱石です。明治中期、この鉱山では大型結晶が多産し、世界的に有名になったが、多くが海外に流出しました。国内に残る希少な標本の一つであり、同様の標本は大英自然史博物館やスミソニアン博物館にも展示されています。（地学研究部・門馬）